

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○ICTを効果的に活用しながら「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりを推進・充実していくことを通して、子ども一人ひとりの「学ぶ力」を高める。

【学校 目標】

○主体的・対話的で深い学びをめざし、「読み解く力」を踏まえ、ICTの効果的な活用により個別最適な学びができる授業改善に取り組む。

【現状と課題】

○視点1 学びの必要性が十分に感じられず、まだまだ受け身的な学習であることが多く、主体的な学びまで達していない。「個別最適な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用を探る必要がある。
 ○視点2 環境が整い、落ち着いた授業が展開されているものの、協働的な学びという点では十分でない。不登校や別室登校などの非社会的な課題を持つ生徒や発達に課題が見られる生徒が増加している。
 ○視点3 本校の課題を解決するための手立てが具体化できず、一部の教員に負担がかかっている。

| 取 組 | | |
|--|---|---|
| 視点1 | 視点2 | 視点3 |
| 学びを実感できる授業づくり | 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり | 子どものために一丸となって取り組む学校づくり |
| 【取組事項】 ○キャリア教育の視点で生徒に学びの必要性を感じさせ、主体的に授業に向かう姿勢を育てる。 ○校内でのICT研修を充実させ、教員全体の資質向上を図る。 ○「読み解く力」と「主体的・対話的で深い学び」との関連を明確にし、ICTの効果的な活用を考えた授業実践に取り組む。 | 【取組事項】 ○お互いの考え・意見を尊重する対話的な授業を通して、自己有用感を育てる。 ○I-checkや教育相談アンケートの実施により、個の把握を深め、生徒が抱える課題等を教職員で共有する。 ○町が開催する研修会等に参加し、課題解決の手立て等を考える。 | 【取組事項】 ○校内での研修をもとに、本校の課題を明確にし、学校全体で取り組む。 ○課題の内容によっては、校内の分掌を中心に改善できるように進め、それを全体に伝えることで継続して取り組む。 |

その他 取組事項

1年数学の少人数によるきめ細かな学習、日野町子育て教育合同研究会(保幼こ小中高連携)、SSWr、SCとの連携による生徒の諸課題の解決

取組の評価

※プランに示してある数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

| | 取組事項 | 評価指標 | 1回目 | 2回目 |
|-----|---|--|-----|-----|
| | | | 評価 | 評価 |
| 全体 | | ・教員の自己評価の向上 ・学力調査や学びアンケートでの、授業に係る項目の3ポイントアップ | | |
| 視点1 | ・学びの必要性を感じる授業づくり ・校内でのICT研修を充実による教員全体の資質向上 ・ICTの効果的な活用を考えた授業実践への取り組み | ・教員の自己評価の向上 ・学校評価による、生徒の「分かる授業」に係る項目の3ポイントアップ | | |
| 視点2 | ・一人ひとりを大切にす対話的な授業の創造 ・I-checkや教育相談アンケートの実施 ・町が開催する研修会等に参加し、課題解決の手立て等を考察する | ・教員の自己評価の向上 ・学校評価による、生徒の「自尊感情」に係る項目の3ポイントアップ | | |
| 視点3 | ・校内研修をもとに本校の課題を明確にした、学校全体での取組(本年度は一人一台のタブレット) ・分掌を中心に改善を進め、それを全体に伝えることでの継続しての取組(別室運営の継続) | ・教員の自己評価の向上 ・学校評価による、教員の「学校組織」に係る項目の3ポイントアップ | | |
| その他 | | | | |

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

| |
|--|
| |
|--|